

# 2026年度 阪神高速グループの 主な取り組み

2026年4月14日  
阪神高速道路株式会社  
代表取締役社長 上松 英司

# 目次

## 1. 営業状況

## 2. 事業進捗状況

- 阪神高速のネットワーク整備
- 高速道路リニューアルプロジェクト
- 3号神戸線(月見山～湊川)及び  
湾岸(垂水)線(垂水JCT～名谷JCT)リニューアル工事

## 3. トピックス

- 「阪神高速グループビジョン205X」及び  
「中期経営計画(2026～2028)」の策定
- お客さま満足アッププラン2026の策定

# 1. 営業状況

2025年度	上半期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	年度累計
通行台数 (台/日) 〔2024年度同期比〕	755,346 〔105.1%〕	777,339 〔104.3%〕	763,025 〔101.7%〕	761,135 〔102.3%〕	704,324 〔102.1%〕	728,280 〔101.9%〕	765,305 〔101.6%〕	750,186 〔102.3%〕	752,773 〔103.7%〕
料金収入【税抜】 (百万円) 〔2024年度同期比〕	97,091 〔105.9%〕	16,787 〔103.8%〕	16,091 〔101.9%〕	16,354 〔101.4%〕	15,305 〔101.2%〕	14,200 〔101.2%〕	—	—	—

## 〔通行台数〕

2025年度の通行台数は、前年度から引続き交通需要の拡大が継続し、喜連瓜破通行止め工事完了(※1)による影響や大阪・関西万博の開催(※2)等により、年度累計で前年同期比103.7%と堅調に推移しております。

## 〔料金収入〕

2025年度4月～2月の料金収入は1,758.3億円 前年度同期比104.1%となっており、通行台数と同様、堅調に推移しております。(2024年6月1日 料金改定実施)

(※1) 喜連瓜破通行止め工事期間 2022年6月1日～2024年12月7日

(※2) 大阪・関西万博開催期間 2025年4月13日～2025年10月13日

## 【特異事象】

2024年度

4月16日～4月26日 4号湾岸線(大浜～泉大津)でリニューアル工事により通行止め

8月27日～9月1日 台風10号の接近により長期間にわたる影響が発生

## 2. 事業進捗状況

○ 阪神高速では、お客さまの利便性向上、関西経済の活性化などに寄与するミッシングリンクの解消に向け、現在、淀川左岸線(2期)、淀川左岸線延伸部、大阪湾岸道路西伸部、名神湾岸連絡線の整備を推進しています



※淀川左岸線延伸部の延長は、西日本高速道路(株)の単独施行区間1.1kmは除いたもの ※名神湾岸連絡線の延長は、国・西日本高速道路(株)の合併施行区間0.3kmは除いたもの

## 淀川左岸線(2期)

- 大阪市より受託している海老江地区の国道2号交差点付近では、開削トンネル(本体)工事を実施しています。
- 大阪市より受託している豊崎地区では、換気所及び受電所の躯体工等を継続して実施しています。

## 淀川左岸線延伸部

- 豊崎地区では淀川左岸線(2期)との一体整備区間(開削トンネル)において、地盤改良工を実施しています。
- トンネル部では有識者の助言を踏まえ設計検討を実施しています。
- 堤防・トンネル一体構造の区間では安全性等の検討が完了し、仮堤防設置に向け国と調整を進めています。



開削トンネル工事実施状況



受電所の建築工の実施状況



地盤改良工の実施状況

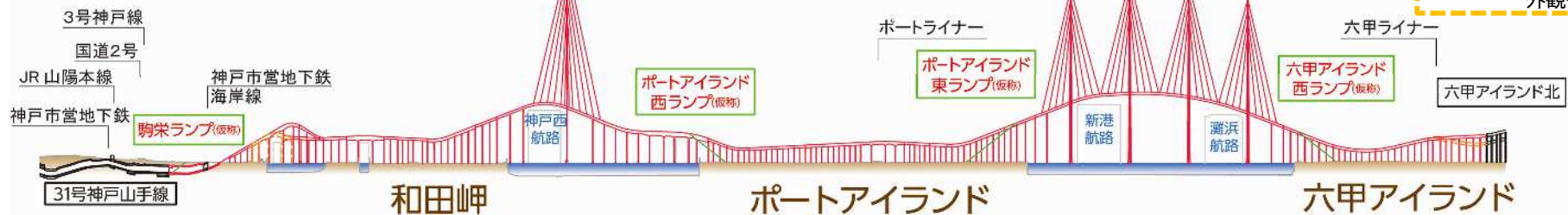


## 大阪湾岸道路西伸部

- 駒栄地区では開削トンネル(本体)工事を実施しています。
- 六甲アイランド地区では橋梁の橋脚及び基礎工事を実施しています。
- 海上部長大橋(新港・灘浜航路部)では詳細設計を実施しています。



### 縦断図



## 名神湾岸連絡線

- 共同事業者(国・NEXCO西日本)と事業の役割分担等を調整しています。
- 国と共に予備設計業務を実施しています。
- 渡航部における構造検討や、各JCT部における交通影響・施工法検討等を実施しています。

### <平面図・縦断図>



注)この縦断図は名神高速道路→名神湾岸連絡線→阪神高速5号湾岸線(神戸方面)のランプをイラスト化したものです。イメージであり、構造等は確定したものではありません。

- 15号堺線 湊町、11号池田線 加島等において、引き続き大規模更新等事業を実施しています
- 2026年5月に3号神戸線(月見山～湊川)及び湾岸(垂水)線においてリニューアル工事を実施します
- その他、床版や鋼桁の疲労き裂対策、コンクリート橋脚のひび割れ対策等の大規模修繕事業を順次進めています  
引き続きリニューアルプロジェクトを進めてまいりますので、事業へのご理解・ご協力をお願いいたします

## 事業箇所と主な進捗状況

### 3号神戸線(月見山～湊川)及び湾岸(垂水)線リニューアル工事

#### 3号神戸線 湊川(1968年開通)



新設橋脚設置状況

- 耐久性向上及び最新の耐震基準への適合のため、既設橋脚間に新たな橋脚の架設が完了
- 上部工の架け替えまでの健全性把握のためモニタリングを実施中

#### 15号堺線 湊町(1972年開通)



埋戻し完了状況

- 鋼製基礎の更新について、先行3基の躯体コンクリート工など本体工事が完了
- 続く3基について準備工に着手



#### 11号池田線 加島(1967年開通)



現地状況

- JR東海道本線を跨ぐ3経間連続有ヒンジ鋼製箱桁橋梁を対象に、耐震性向上等を考慮し、桁の連結化工事及び耐震補強工事を実施中



桁補強工  
(腹板補強取付状況)



耐震補強工  
(支取替え状況)

- 3号神戸線(月見山～湊川)は、2012年に実施した大規模な補修工事から10年以上が経過し、舗装や伸縮継手(ジョイント)の損傷が顕在化しており、鋼床版にも疲労き裂などの損傷が発生しています
- 湾岸(垂水線)は1998年の供用から25年以上が経過しましたが、供用開始から大規模な補修工事を実施していないため、経年劣化などによる舗装の損傷が顕在化しています
- そこで、安全・安心・快適を未来につなげるため、**道路の長寿命化対策や、安全性・走行性の向上及び沿道環境の改善に向けた取組**など、終日通行止めによるリニューアル工事を実施します

## 通行止め区間

- (1) 第二神明道路 須磨IC ~ 3号神戸線 湊川 上下線(約5.3km)
- (2) 湾岸(垂水)線(垂水JCT~名谷JCT) 上下線(約1.2km)

## 通行止め期間

- (1) 2026年5月20日(水)午前4時 ~ 5月28日(木)午前6時(8日間)
- (2) 2026年5月20日(水)午前4時 ~ 5月25日(月)午前6時(5日間)



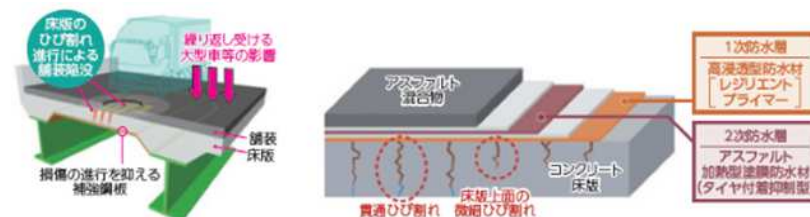
規制内容	規制区間	5月							
		20	21	22	23	24	25	26	27
終日通行止	E93 第二神明 須磨IC~3 神戸線 湊川 上下線	4時開始 6時終了							
	湾岸(垂水)線 垂水JCT~名谷JCT 上下線	4時開始 6時終了							
昼夜連続車線規制	E93 第二神明 高丸IC~須磨IC 下り線	4時開始 6時終了							

## 工事概要

### 構造物の長寿命化

#### コンクリート床版への高性能床版防水の実施

床版のひび割れへの浸透性の高い防水層で高性能床版防水を実施します。これにより、コンクリート床版の長寿命化を図ることが期待できます。



### 安全性・走行性の向上・沿道環境の改善

#### 広範囲・大規模に新しい舗装へ打ち替え

通行止め区間内における舗装を全面的に打ち替えます。これにより安全性・走行性が向上します。



工事前

工事後

- リニューアル工事期間中、高速道路では、**湊川JCT**や通行止め区間直近の**端末出口(須磨出口・湊川西行出口)**での渋滞が予想されます
- 一般道路では、特に第二神明道路の**須磨IC付近**での渋滞が予想されます



**渋滞にご注意下さい**

- お車のご利用を控えていただくことや、渋滞区間を避けたご利用、ご利用時間帯の変更をご検討いただきますよう、ご理解とご協力をお願いします
- う回乗継の設定や各う回ルート上の所要時間比較などの詳細情報は、「特設サイト」をご確認ください



う回乗継ルート<ETC車・現金車共通> <span style="color:red">■</span> 工事期間中のみ			
東行 神戸方面→大阪方面		西行 大阪方面→神戸方面	
う回乗継出口	う回乗継入口	う回乗継入口	う回乗継出口
新神戸トンネル 32 神戸 国道2号	神戸線 3 生田川(東行) 摩耶(東行) 5 六甲アイランド北 魚崎浜(東行) 住吉浜	新神戸トンネル 32 二宮 国道2号	神戸線 3 生田川(西行) 摩耶(西行) 5 六甲アイランド北 魚崎浜(西行) 住吉浜
神戸山手線 31 神戸長田	神戸線 3 榑原(東行)	神戸山手線 31 神戸長田	神戸線 3 榑原(西行)
北神戸線 7 榑谷JCT 西宮山口JCT 西宮山口東	北神戸線 11 池田木部 池田	北神戸線 7 榑谷JCT 西宮山口JCT 西宮山口東	北神戸線 11 池田木部 池田
北神戸線 7 榑谷	神戸線 3 生田川(東行) 摩耶(東行) 5 六甲アイランド北 魚崎浜(東行) 住吉浜	北神戸線 7 榑谷	神戸線 3 生田川(西行) 摩耶(西行) 5 六甲アイランド北 魚崎浜(西行) 住吉浜

- 1 公共交通機関の利用
- 2 渋滞が予想される時間帯を避けた利用
- 3 う回乗継の利用

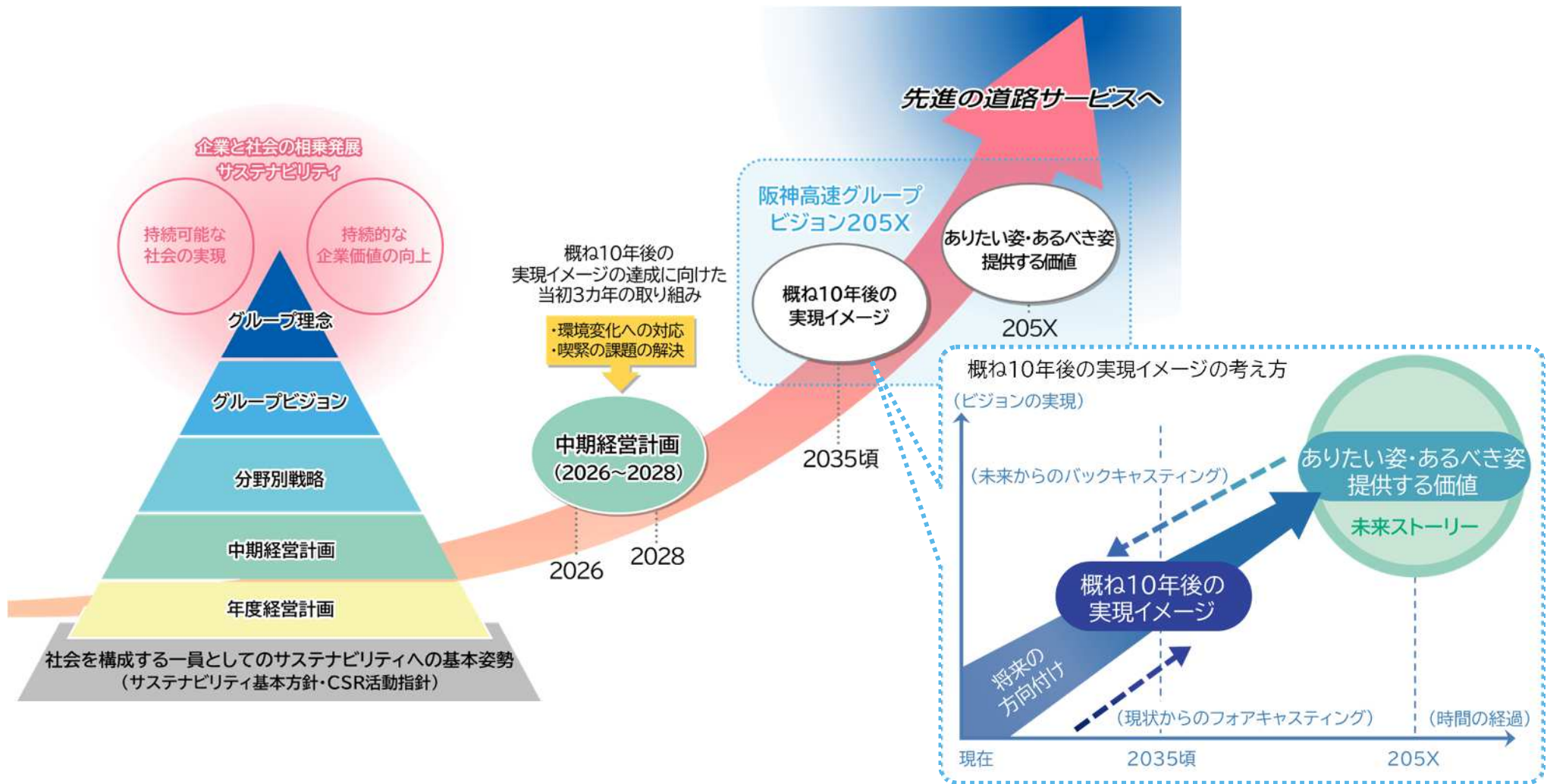
ご理解とご協力をお願いします

# 3. トピックス

# 阪神高速の「意志ある未来」の実現に向けて ～グループビジョンと中期経営計画の策定～

- 阪神高速グループは、未来社会でもお客さまの満足を実現し、関西のくらしや経済の発展に持続的に貢献していくため、新たに「阪神高速グループビジョン205X」と「中期経営計画(2026～2028)」を策定しました
- グループビジョンは、阪神高速グループ理念「先進の道路サービスへ」の具現化に向けた方向付けとして、グループの「意志ある未来」を示すものです
- その実現に向けて、中期経営計画を着実に達成するなど、グループの総力を挙げて取り組みます

## ■グループビジョンと中期経営計画の位置付け・実現の時期と道筋の設定



## ■グループビジョンのフレーム

先進の道路サービスへ

ありたい姿・あるべき姿

### 【Mission Field】

変わらぬ使命を  
サステナブルに遂行

日常だけでなく災害時にも  
「関西のくらしや経済を支える強靱で  
信頼性の高い安全・安心・快適な  
高速道路ネットワークサービス」を提供

### 【Innovation Field】

新たな価値を創出

- 01 自動運転など未来の社会ニーズに対応した「移動・モビリティの高度化」への貢献
- 02 自動車のための高速道路から「多様な機能を提供する都市インフラ」への進化
- 03 阪神高速のフィールドを超えた「関西さらにはグローバル視点での価値」の提供

### 【Human Capital Field】

人の成長と技術力・ナレッジの進化

企業価値の源泉である「人の成長と  
技術力・ナレッジの進化」により  
変化に挑戦し社会課題の解決に貢献

- ① 最先端技術により予測が高精度化している未来
- ② 災害等の危機を乗り越えられる未来
- ③ 再生可能資源の活用が進んでいる未来

- ④ 自動運転が一般化される未来
- ⑤ 通信技術が革新し自律化技術が普及している未来
- ⑥ 都市と生活スタイルの多様化が進んでいる未来

6つの未来ストーリー

### 事業環境変化の想定

確実あるいは高い確率で顕在化する社会課題・リスク

- 人口減少、担い手不足、社会資本の老朽化
- 風水害の深刻化、大規模地震の発生

持続可能な社会の実現に向けた要請

- 脱炭素化・CO2削減
- エネルギー革命、食糧等の循環技術の進展

技術の進展とそれによる社会の変化

- IT技術の進化、仮想空間の活用、自動・自律化
- 社会・生活の多様化・パーソナライズ化

## ■グループビジョンの実現イメージ

阪神高速グループは、社会を構成する一員として、「サステナビリティ」を共通の価値観と認識し、グループビジョンの実現によるグループ理念の具現化を通じて、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、持続的な企業価値の向上を目指します

### 保有技術を活用した課題解決

保有する技術・情報を活用し、インフラ施設のマネジメントなど地域や海外のニーズに応じた事業を展開しながら、気候変動問題にも対応

Innovation Field 03 ②③④⑥⑦

### 阪神圏の移動を高度化・最適化

自動運転などの技術の進歩に応じた高速道路の機能の進化や、交通手段を連携させるモビリティハブの構築により移動の高度化・最適化を実現

Innovation Field 01 ①②③④

### 高速道路を活用した街づくり

阪神高速に接続する物流拠点やスマートシティなど、新たな街のあり方を提案

Innovation Field 02 ②③④

### 移動性の向上と価値の創出

パーソナライズした情報を提供し、移動のアクセシビリティを高めるとともに、充実した移動時間を過ごせるサービスを充実

Innovation Field 01 ②⑤⑥、③⑦⑧

### 地域・社会との共創

地域とインタラクティブに交流して相互理解を深め、保有データも活用しながら、地域の連携強化と新たな魅力創出を支援

Innovation Field 03 ①②、④⑤

### 強靱で信頼性の高いネットワーク

高いアクセス性とリダンダンシーを備え、災害時にも機能を維持できるレジリエントな高速道路ネットワークを構築

Mission Field ①①②

### 安全・安心・快適の最大化

デジタル技術を活用した情報の処理・提供により、日常の安全で円滑な交通を実現し、災害時にも的確な情報発信とオペレーションを行い安全・安心を確保

Mission Field ②③④⑤⑥、③⑨

### 人の成長と技術力・ナレッジの進化

多様な人材と保有する技術力・ナレッジを融合し、道路サービスを進化させ、社会課題の解決に貢献

Human Capital Field

### 効率的で高度な維持管理

作業の自動化・省力化や安全性向上を実現する技術と、道路のライフサイクル全般にわたるシームレスなマネジメントにより、効率的で高度に高速道路を維持管理

Mission Field ④⑦⑧⑩

### 高速道路の多目的な利活用

再生可能エネルギーを含む電気通信など暮らしを便利にするインフラ基盤として、阪神高速の施設・空間を多目的に利活用

Innovation Field 02 ①②

## ■主な経営環境と取り組みの方向性

○新たな中期経営計画は、グループビジョンの「概ね10年後の実現イメージ」に到達するための取り組みと、将来直面する環境変化や喫緊の課題に対応するための取り組みの双方を意識した、3年間の具体的な実行計画として策定しています

### 主な経営環境

気候変動対策・脱炭素化に向けた社会要請	激甚化・頻発化する自然災害
ネットワーク機能強化への期待	構造物の老朽化
少子高齢化・社会資本整備の担い手不足	デジタル技術の進展
多様化するライフスタイルニーズへの対応	DEIの推進
安全・安心・快適な道路サービスへの期待	ステークホルダーからの信頼性向上
革新技術の開発・実装	労務費・資材費の高騰

### M 変わらぬ使命をサステナブルに遂行

1. ネットワーク整備の推進
2. 安全・安心・快適なサービスの一層の体感
3. 長期的な道路機能の維持
4. 大規模災害時における安全と道路機能の確保

### HC 人の成長と技術力・ナレッジの進化

1. 人の成長
2. 組織力の強化
3. 技術力・ナレッジの進化
4. 生産性の向上・全体最適化
5. 社会との共創

### I 新たな価値の創出

#### I-01 移動・モビリティの高度化

1. 移動・輸送の進化への貢献
2. 多様な移動サービスの提供

#### I-02 多様な機能を提供する都市インフラ

1. 周辺地域と調和した景観の形成
2. 阪神高速の有効活用に向けた検討

#### I-03 関西さらにはグローバル視点での価値

1. 持続可能な地域づくり
2. モビリティ認証パッケージの提供
3. 保有資産(ハード)などを活用した事業の展開
4. 技術・ノウハウを活用した事業の展開
5. 気候変動への対応

※取り組みの方向性は、阪神高速グループビジョン205Xの枠組みで整理  
Mission(M) / Innovation(I) / Human Capital(HC) Field

## ■中期経営計画の重点項目

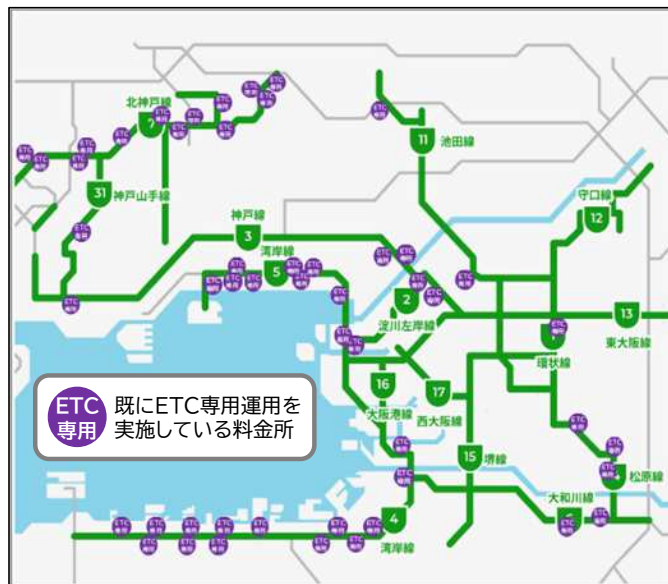
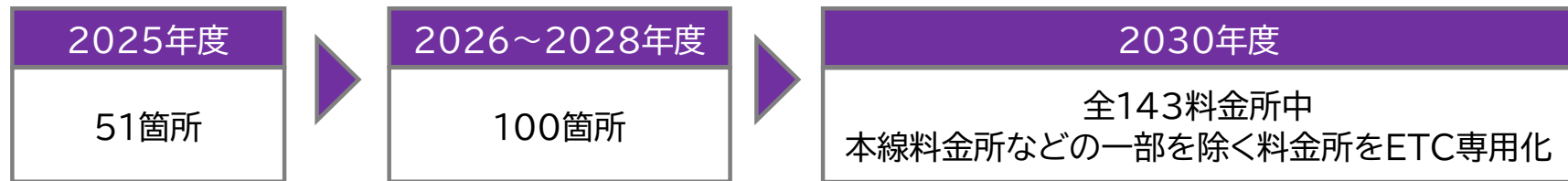
○ 阪神高速グループは、「サステナビリティ」を社会の共通の価値観と認識し、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、自らも持続的に進化・成長することを目指しており、その実現に向けて、計画期間においては「関西の持続的な発展への貢献」「先端・革新的技術の実装」「担い手不足への対応」に重点的に取り組みます

項目	内容	主な取り組み
関西の持続的な発展への貢献	関西のくらしや経済の持続的な発展に貢献するため、渋滞解消のためのネットワーク強化、高速道路の長期的な機能維持と効率的な活用に加えて、ライフスタイルニーズの多様化に応える地域の魅力の発見・向上等に、地域と共に取り組んでいきます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 淀川左岸線(2期)、淀川左岸線延伸部、大阪湾岸道路西伸部、名神湾岸連絡線の着実な推進</li> <li>● 11号池田線 加島付近、15号堺線 湊町付近など、事業化済みの大規模更新等事業の着実な推進</li> <li>● 料金所のETC専用化・無人化の推進</li> <li>● 複数地域の周遊促進など、地域と地域をつなぐ企画の実施</li> </ul>
先端・革新的技術の実装	大阪・関西万博レガシーとなる新技術の社会実装を率先しながら、それらを含めた革新的技術の開発・実装や、デジタル技術の利活用を進めることで、お客さまのご要望・ご期待や社会課題に対応し、新たな価値を創出していきます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自動運転実現に必要な構造、運用、設備等の検討</li> <li>● 交通デジタルツインに基づき交通の最適化を図るプロアクティブな交通マネジメントの本格実装を目指した検討の深化</li> <li>● モビリティ認証パッケージの提供</li> <li>● 地球環境保全に資する技術開発の推進</li> </ul>
担い手不足への対応	社会課題である担い手不足に対応するため、阪神高速のサプライチェーン全体での省力化・省人化の取り組みや、保有する技術力・ナレッジの幅広い活用等により、業務の効率化と生産性向上を図り、全体最適化を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 維持管理に係る業務プロセス効率化に向けたデータ利活用の推進</li> <li>● 道路等インフラの維持管理や用地取得支援などのノウハウを活用した事業を推進し、自治体等の業務を支援</li> <li>● 受発注者双方の調達業務の効率化に向けた「阪神高速版調達ポータル(PROZIT)」の全社展開</li> <li>● 建設現場での生産性向上に資する工法・資材等の積極的活用に向けた取り組みの推進</li> </ul>

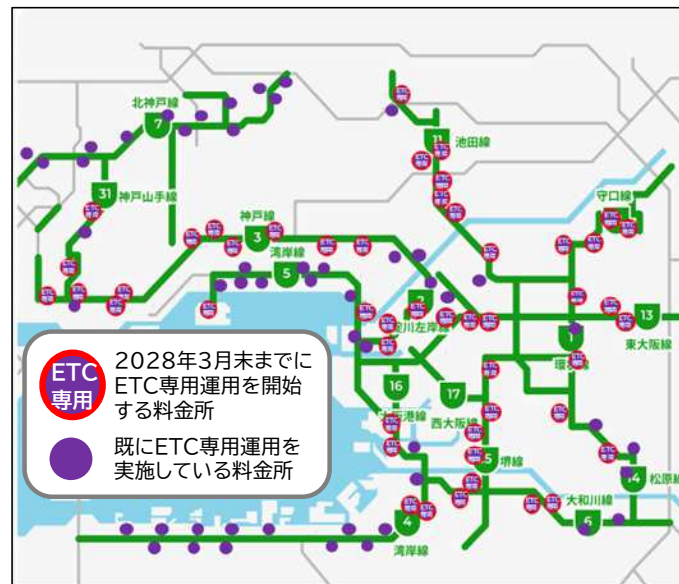
## ■期間中の主な取り組み 一料金所のETC専用化・無人化の推進一

- 阪神高速道路の料金所は、全143箇所のうち、2026~2028年度に累計100箇所がETC専用になります
- 2030年度末までに、本線料金所などの一部を除く料金所のETC専用化を目指します

安定した高速道路サービスの提供のために、持続可能で効率的な料金收受の実現する取り組みとして、料金所のETC専用化・無人化を一層推進します。



ETC専用料金所位置図  
(2026年4月時点)



ETC専用料金所位置図  
(2028年3月末時点予定)

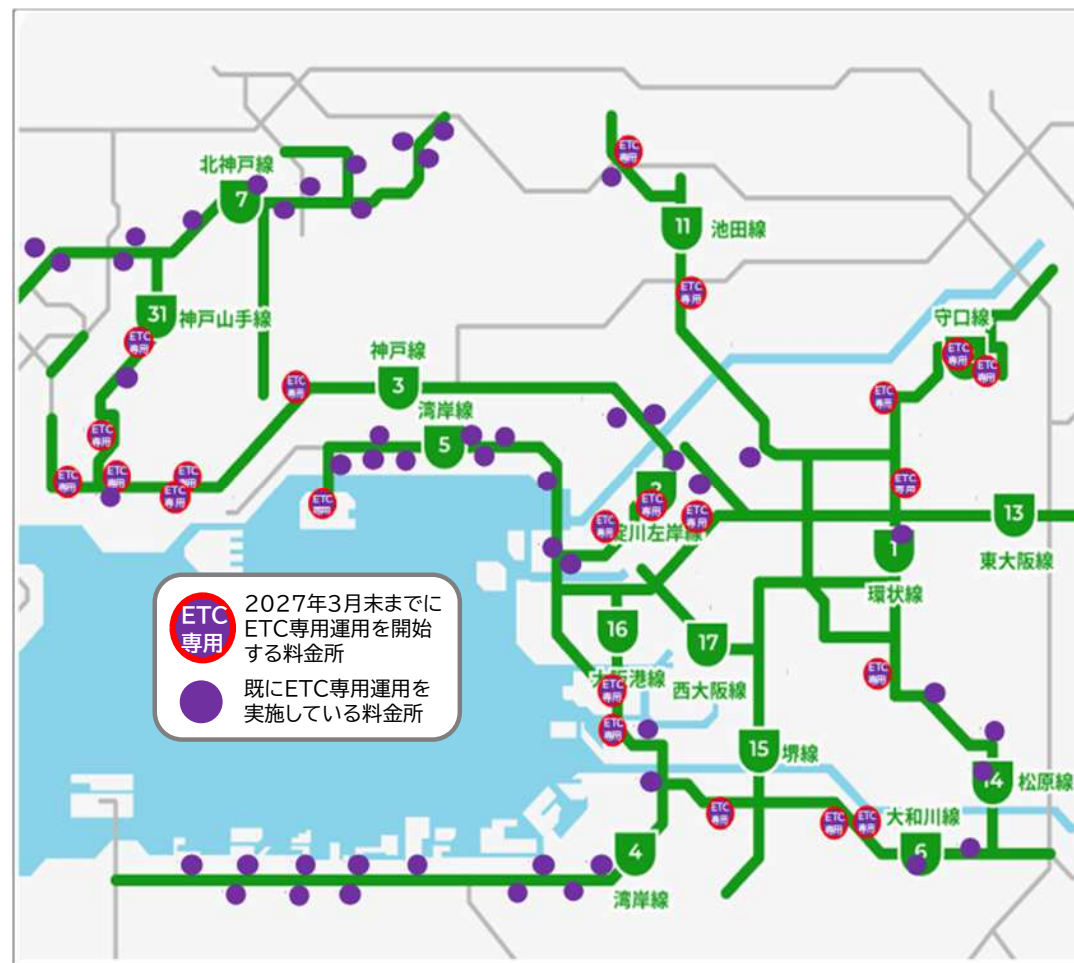


ETC専用料金所  
(写真:5号湾岸線 鳴尾浜料金所)

## ■2026年度のETC専用化予定[参考]

- 2026年度は6月以降、23箇所料金所が順次新たにETC専用料金所になります
- ETC専用化(無人化)に必要な各種機器設置等のため、各料金所において工事を実施します

時期	路線名	料金所名
2026年6月(※1)	11号池田線	神田出口
2026年10月～12月頃(※1)	1号環状線	高麗橋
	2号淀川左岸線	正蓮寺川、大開
	3号神戸線	柳原西行、柳原東行、若宮
	4号湾岸線	南港北
	5号湾岸線	六甲アイランド北(※2)
	6号大和川線	常磐西行
2027年1月～3月頃(※1)	31号神戸山手線	神戸長田、白川南
	3号神戸線	湊川東行、摩耶東行
	4号湾岸線	南港中
	6号大和川線	常磐東行、鉄砲西行
	11号池田線	豊中南南行
	12号守口線	森小路、都島、扇町
	14号松原線	阿倍野
	16号大阪港線	本田



ETC専用料金所位置図(2027年3月末時点予定)

※1 時期は、前後する場合があります

※2 ETC専用化に伴い、現金車等ETC無線通行できない車両は、六甲アイランド北入口への乗継はできなくなります(ETC車の乗継は可能です)

※3 各料金所のETC専用運用開始日・時間については、別途弊社WEBサイト等にてお知らせします



## ■期間中の主な取り組み ー維持管理業務の効率化・高度化ー

- 維持管理のコスト増大や担い手不足の課題に対して、まず社内に分散している点検・補修・交通等のデータを整理・高度化・統合するなど、全社視点での基盤強化に着手しています
- これらの取り組みを維持管理DXの第一段階として、将来の現場作業の効率化・省人化を目指します

### 現状の課題

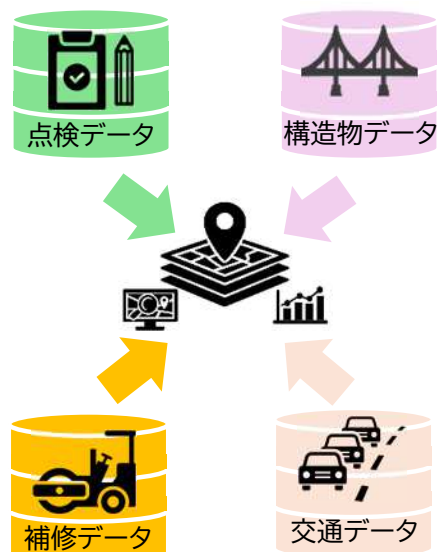
- ◆ 各部門固有のシステム構築・データ構成となっており、部門・分野横断的なデータ活用が困難
- ◆ 全社的分析や迅速な意思決定に支障

### 2026~2028の取組み

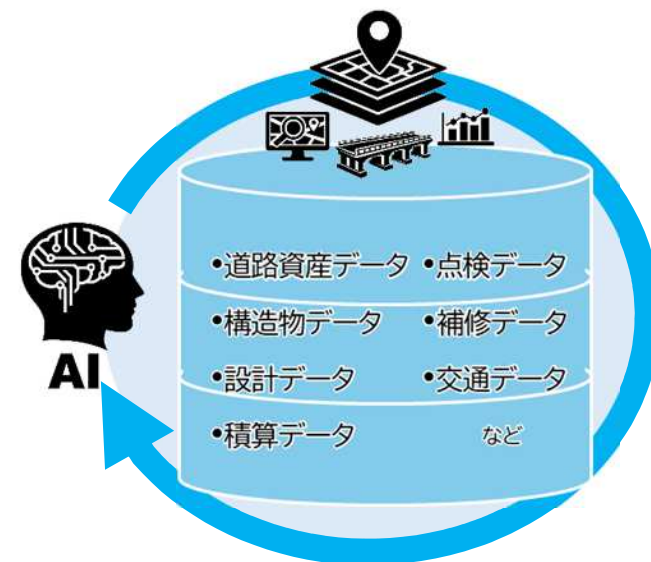
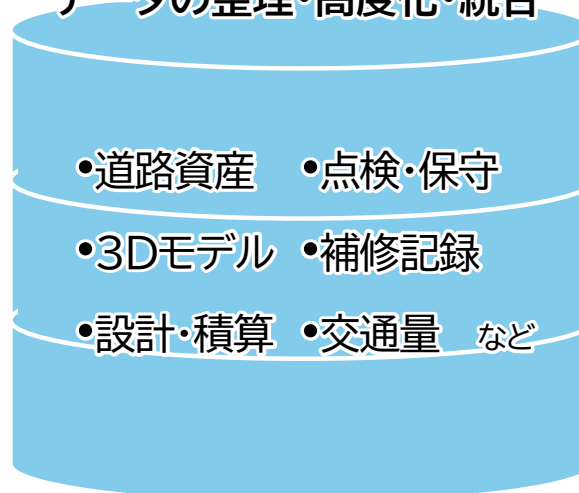
- ◆ 各データベースの**精度向上・網羅性(位置・時間情報など)向上**
- ◆ **システム間連携の強化**の推進

### 更なる効率化・高度化へ

- ◆ 動的な維持管理情報プラットフォームを整備し、AIも活用することで**データ駆動型の予防保全**を実現
- ◆ 工事の箇所・内容や補修時期を最適化することで、**現場作業の効率化・省人化**を実現

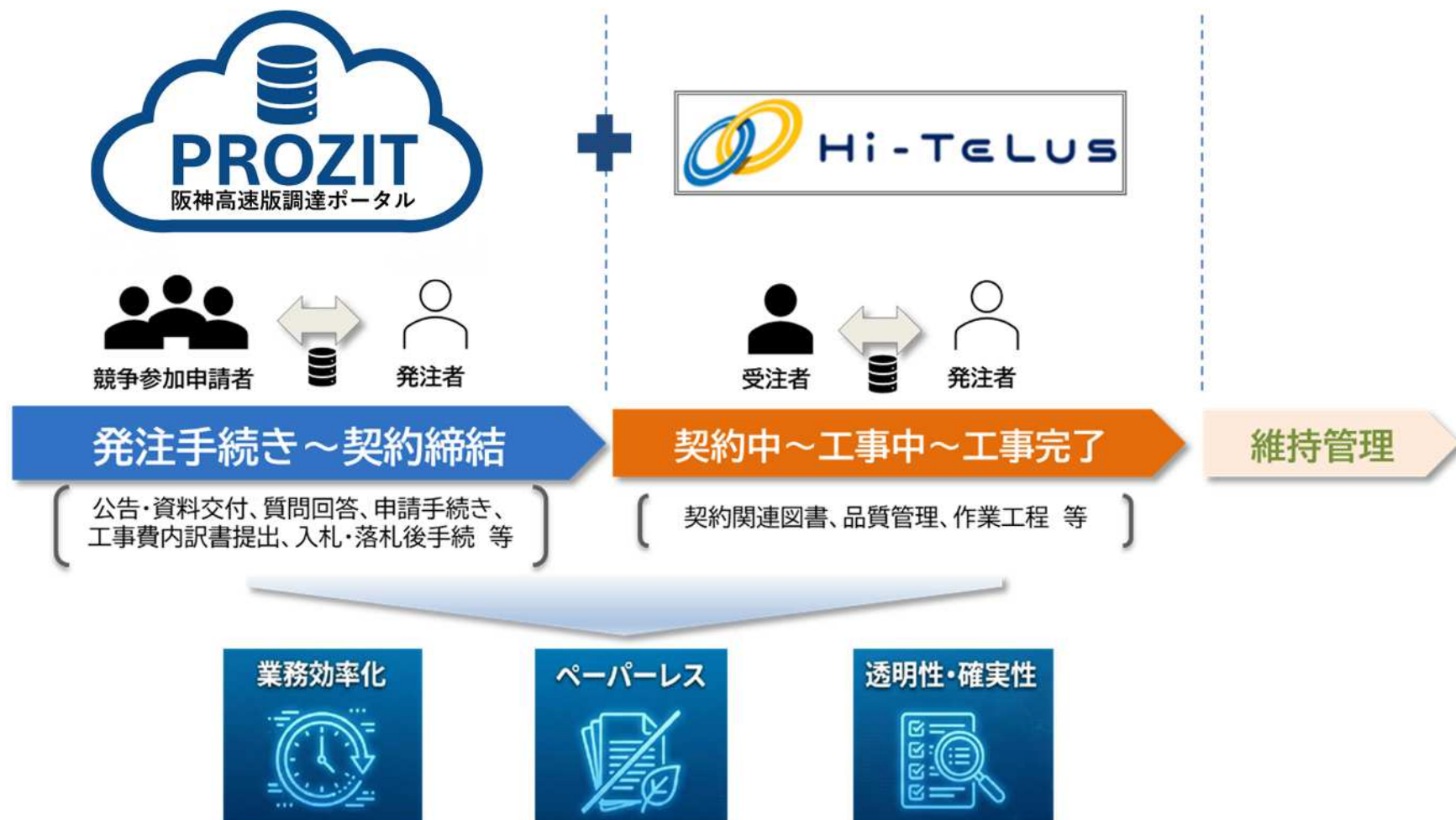


### データの整理・高度化・統合



## ■期間中の主な取り組み ー業務効率化の推進 阪神高速版調達ポータル(PROZIT)の導入(1)ー

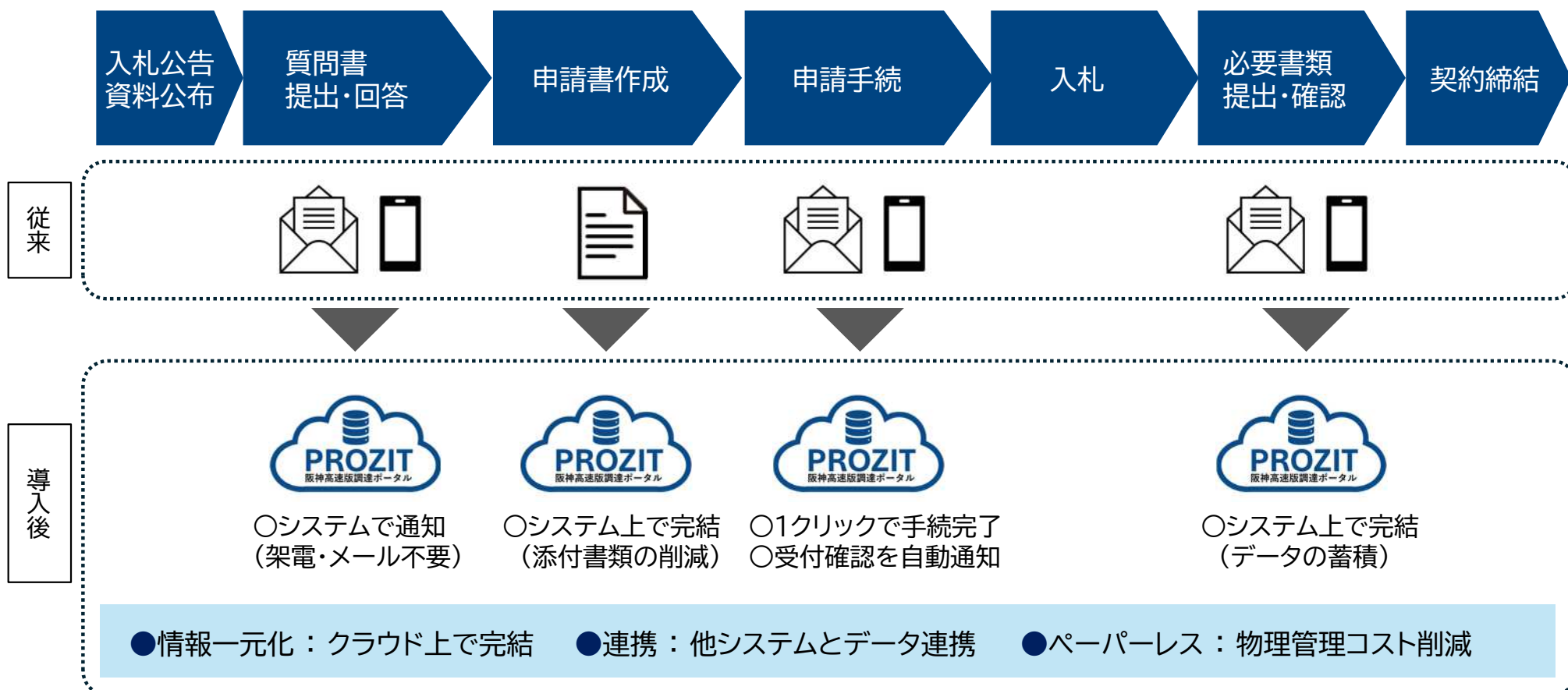
- 調達時における受発注者間での円滑な情報共有や各種手続きの簡素化・効率化を目的に、「阪神高速版調達ポータル(PROZIT)」を2025年度から一部工事で試行導入しました
- PROZITの導入により、調達から契約締結の範囲において省力化・効率化を図ります
- 導入済の「阪神高速道路工事情報等共有システム(Hi-TeLus)」とともに、建設業における生産性向上・業務効率化に貢献できるよう、DXを通して建設業における働き方改革をさらに推進します



## ■期間中の主な取り組み ー業務効率化の推進 阪神高速版調達ポータル(PROZIT)の導入(2)ー

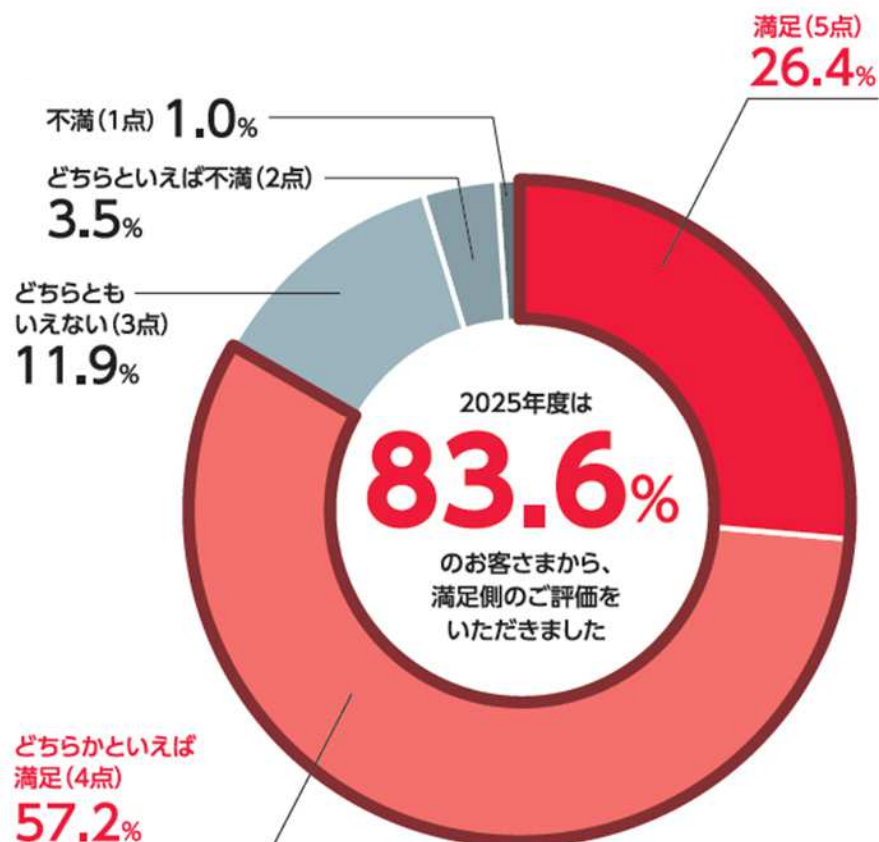
- 「阪神高速版調達ポータル(PROZIT)」の導入により、メールや電話で行っていた調達手続きに関する資料のやり取りをオンライン化し、一元化することで、受発注者双方の負担を軽減します
- 2026年度から、すべての工事へ導入範囲の拡大を図るとともに、将来的には業務への導入を目指します

契約までの一連の手続き

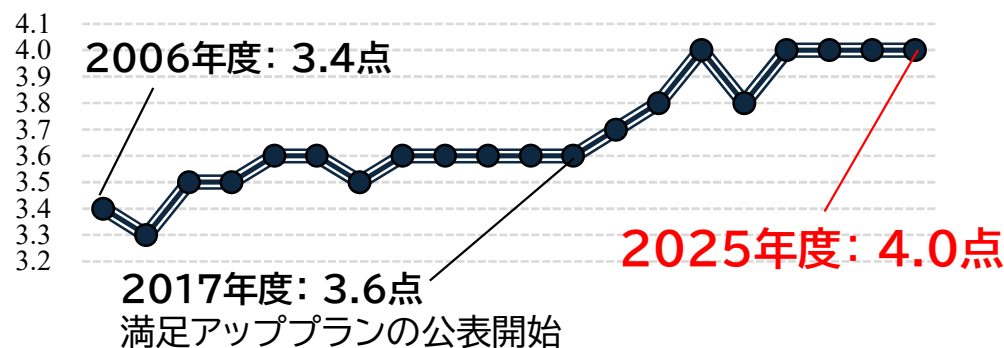


※2025年度に、3件の工事で試行導入

- 阪神高速グループでは、お客さまの声を分析してグループ内で共有し、経営やサービスの改善・向上に活かす『CS改善サイクル』を通して、お客さま満足向上に努めています
- 今年度も、お客さま満足度調査(2025年度)の結果を分析し、さらなるお客さまサービス向上に繋げるための『お客さま満足アッププラン2026』を策定いたしました



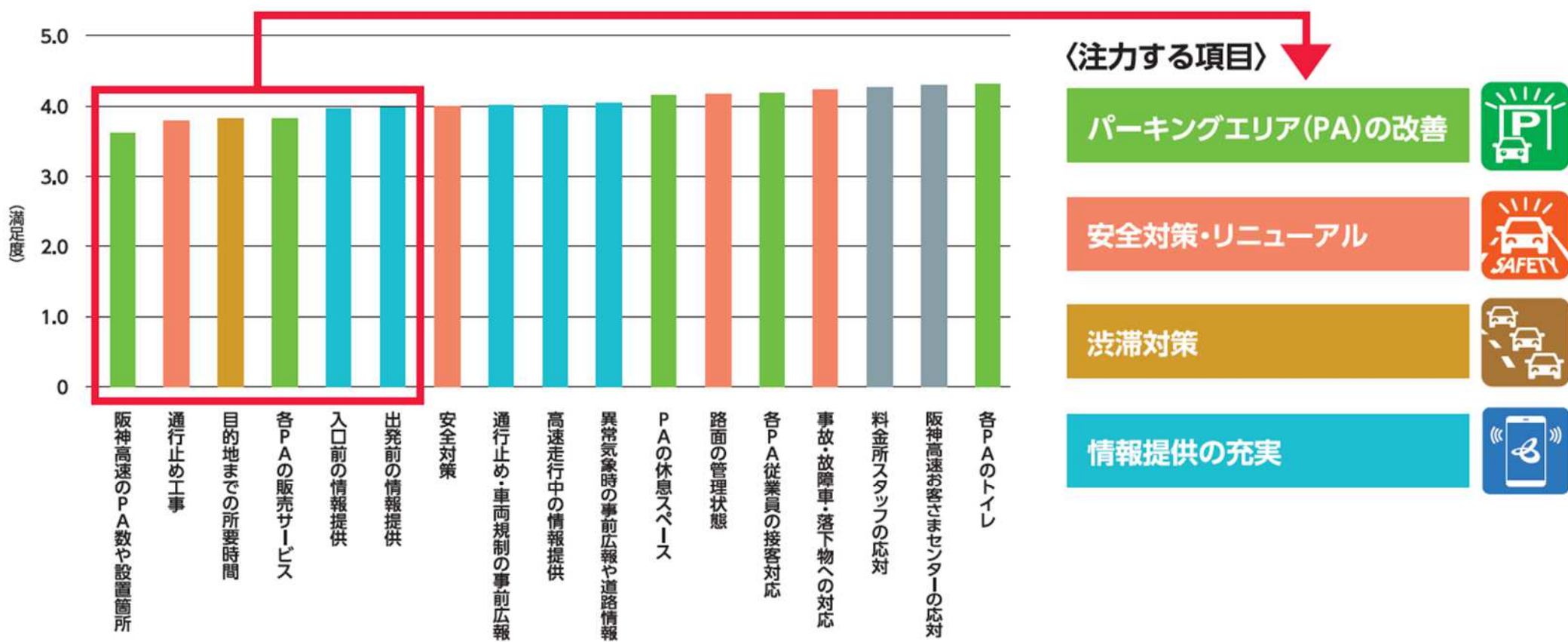
2025年度 満足度調査結果



総合満足度の推移(5点満点)

なお、お客さまサービスの基礎となる「お客さま満足度調査」は、民営化以降毎年度実施しています。  
2026年度も6月頃に調査を実施しますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

- お客さま満足アッププラン2026では、2026年度に実施予定の取り組みを中心に、幅広いサービス向上施策を取りまとめました
- 特に、お客さま満足度調査(2025年度)で相対的に満足度が低い「パーキングエリアの改善」「安全対策・リニューアル」「渋滞対策」「情報提供の充実」を注力する項目としています
- その他、お客さまにお楽しみいただける沿線地域と連携したサービス等も紹介しています



## 渋滞対策(ハード面の対策)

2026  
の取り組み

### 速度回復誘導灯

速度低下しやすい上り坂や合流部において、速度回復誘導灯(5箇所)を導入し、渋滞を緩和させています。  
2026年度には、これまでの運用結果を踏まえ、AI技術を活用したより効果的な点灯パターンを試行していきます。



## 安全対策・リニューアル(逆走対策の推進)

2026  
の取り組み

### 逆走重点対策箇所における取り組み

誤って出口から進入することによる逆走事故を防ぐため、重点対策箇所(5甲子園浜出口、11出入橋出口、15芦原出口、17北津守出口)において、2026年度以降さらなる逆走対策を進めていきます。



※関係機関協議や現地条件の精査、実道での設置状況、一部の技術の検証等を踏まえ、見直すことがあります。

## 情報提供の充実(LINE公式アカウント、阪神高速はしれGo!)

LINE公式アカウントを通じて、阪神高速の道路情報などを分かりやすく、タイムリーにお届けします。



道路交通状況をいち早く手に入れ、余裕を持って出かけたくな。

「阪神高速はしれGo!」で最新の所要時間を共有。スムーズな移動をしっかりと支えます。



2026  
の取り組み

### 「阪神高速はしれGo!」の更新間隔改善

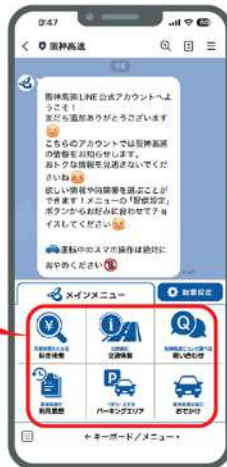
「阪神高速はしれGo!」の情報更新間隔を5分毎→1分毎に改良する取り組みを進めます。

LINE 阪神高速 LINE 公式アカウント  
友だち募集中!

QRコードから友だち追加  
またはIDでかんたん追加  
ID: @hanshin-exp

アイコンをタップすると、  
メニューに対応した  
コンテンツが  
表示されます。

阪神高速すぐログ  
連携で利用履歴を  
トーク画面で確認



トーク画面で  
料金を簡単検索

配信設定で  
お好みの情報だけをお届け

交通情報  
をすぐに確認

お得情報や  
クーポン  
の配信

キャンペーン情報などを  
プッシュ配信でいち早くお届け!  
ぜひ友だち追加をお願いします!



交通情報 料金・ルート検索  
阪神高速  
はしれGo!



モバイル・PC向け交通情報サービス「阪神高速はしれGo!」は、最新の渋滞・規制情報やライブカメラ映像を提供し、お客さまの安全で円滑な走行と、適切なルート選択をサポートします。

- 機能1 阪神高速道路のリアルタイム情報提供  
出入口指定で24時間、交通情報と最短ルートを検索
- 機能2 お知らせメール機能  
マイルート登録で所要時間などを指定時刻にメール通知
- 機能3 ETC料金検索機能  
出入口指定でETC料金を簡単検索・比較